

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 5 月 8 日

事務事業名		野犬苦情対応				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050801000243
						単独/補助	単独	所属課	030301
政策体系		政策体系上の位置付け						生活環境課	
総合計画の施策名		0508 生活環境の保全						課長名	
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり						グループ	
施策名		08 生活環境の保全						担当者名	
手段名		01 ①公害防止・生活環境の保全						環境公害対策G	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		一般会計				単年度繰返し (昭和25 年度~)			
01 04 01 03 02 00		環境衛生事業				☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			
法令根拠		狂犬病予防法							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
野良犬の苦情内容により、現地確認や保護・捕獲による対応を行う。また、市民等への捕獲箱の貸し出し、苦情内容により動物指導センターへの苦情処理依頼を行う。 捕獲箱について、ハクビシンや野良猫の捕獲での貸し出し依頼がまれにあるので、犬の捕獲以外は、断るように努める。 令和6年度から公害苦情処理事務へ統合する。	現場確認、捕獲箱設置、看板等の設置、飼い主等への指導などを行う。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
苦情現場の調査、捕獲箱の設置。	処理件数	件	1.00	3.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
野犬	苦情件数	件	1.00	3.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
野犬を捕獲し、咬傷事故等の予防する。	捕獲頭数	頭	0.00	0.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	95	0	10			
	事業費計 (A)	千円	95	0	10			
正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	5.00人				

05年度事業費 実績 (千円)

06年度事業費 予算 (千円)

			10 需用費	10			
			合計	0		合計	10

(4) 当該年度の実施内容

06年度の事業内容

07年度の事業内容

08年度の事業内容

※年度ごとに事業内容を記入する	現場確認、捕獲箱設置、看板等の設置、飼い主等への指導などを行う。	現場確認、捕獲箱設置、看板等の設置、飼い主等への指導などを行う。	現場確認、捕獲箱設置、看板等の設置、飼い主等への指導などを行う。
-----------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

事務事業名	野犬苦情対応	事務事業No.	50801000243	所属課	生活環境課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
野犬による咬傷事故等を防止するため、以前から県の協力要請により実施している。平成16年10月より、飼い犬（飼い猫）の引取りが有料化したため捨て犬が増え、それが野犬化し年々増えている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
野犬が多い、子供が下校の際に使用する通り道で危険であるため捕獲してもらいたい等。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 野犬を減らすことにより安全で快適な住環境で暮らすことができる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 咬傷事故を減らしたり、狂犬病の予防策にも繋がる。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 捕獲箱のみで作業しており、成果の向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 野犬を放置しておくことにより野犬が増えて危険である。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 公害苦情処理
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 苦情として公害苦情処理に統合ができる。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 捕獲用の餌代なので最小限である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民全体の生活の安全に係る事業である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	野犬の苦情に対し、目撃場所に捕獲器の設置を市職員で行った。野犬の姿は確認できたが、捕獲の成功にはいたらなかったため、セットするエサの見直しなど工夫が必要である。																			
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 令和6年度から公害苦情処理事務へ統合する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>